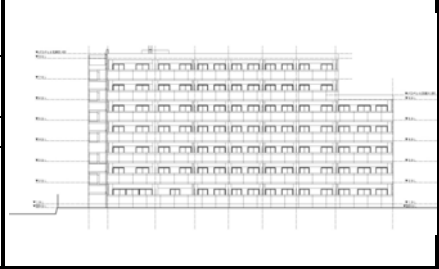


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	公営住宅(板付住宅)新築工事	階数	地上7F
建設地	福岡市博多区板付3丁目	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	180 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年5月25日
敷地面積	2,485 m ²	作成者	青山 謙治
建築面積	519 m ²	確認日	2015年5月25日
延床面積	2,640 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	公営住宅としての、機能性と安全性を基本に計画	その他 特になし
Q1 室内環境	居住性とメンテナンスについて配慮	Q3 室外環境(敷地内) 自然な住環境の為に植栽計画を行った
LR1 エネルギー	断熱性能を考慮し等級4とする	LR3 敷地外環境 日影・風環境を考慮した配置計画とした
Q2 サービス性能	機能性に配慮した計画とする	
LR2 資源・マテリアル	リサイクルに配慮した計画とした	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される